

9月15日：主要銘柄が大きく買われ、VN指数は反発

投資家心理が改善し、数日軟調な動きが続いたVN指数はこの日上昇した。だが外国人投資家は引き続き両市場で売り越した。けれど売り越し額は前日と比べ減少した。

2日下落していたホーチミン市場のVN指数は反発した。同指数は0.46%（6.13ポイント）高の1,345.83ポイントでこの日の取引を終えた。

取引は弱含んで始まり、結局午前の取引は下げて引けた。

騰落別では281銘柄が上昇し、147銘柄が下落した。出来高は前日に続き減少した。売買取高は約6億9,210万株で、売買代金は19兆1,900億ドン（8億4,487万米ドル）となった。

一部の大型株、特に製造業セクターの銘柄が大きく買われたことで同指数は上昇した。VN30指数は0.47%（6.69ポイント）高の1,444.85ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、18銘柄が上昇、10銘柄が下落、2銘柄は変わらずだった。

マサングループ（MSN）は7%のストップ高となり、前日に続きVN30指数の組入銘柄の中で上昇率トップとなった。他にもホアファットグループ（HPG）+2.58%、ホアセングループ（HSG）+6.86%、ベトナムゴム工業グループ（GVR）+1.32%などが買われた。

ペトロベトナムガス（GAS）、ビンホームズ（VHM）、ペトロリメックス（PLX）、PVパワー（POW）、フーニュアンジュエリー（PNJ）も堅調な動きとなった。

その一方でベトコムバンク（VCB）、ベトナム航空（HVN）、ビナミルク（VNM）、ビングループ（VIC）は、指数上昇の重しとなった。

3日下げていたハノイ市場のHNX指数もこの日は反発した。同指数は0.83%（2.89ポイント）高の350.75ポイントで取引を終えた。

売買取高は1億7,150万株超で、売買代金は約3兆2,000億ドンとなった。

一方で、外国人投資家は引き続き両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で合わせて138億9,000万ドンを売り越した。前日と比べ、売り越し額は減少した。

そのうち、ホーチミン市場で 181 億 2,000 万ドンを売り越し、ハノイ市場では 42 億 3,000 万ドンを買い越した。

世界市場の多くが軟調だったのに対し、ベトナムの株式市場は堅調だった。中国の経済指標がさえない内容であったため、アジア市場は弱含んだ。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。